

令和元年度 東部保健医療圏 圏域別取組に対する進捗状況

参考資料 1

【1 地域の子育て支援の充実】

【主な取組】＜実施主体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、民生委員・児童委員協議会、市町、保健所＞

① 妊 娠 期 か ら 子 育 て 期 ま で 切 れ 目 の な い 支 援 体 制 の 構 築	吉川松伏 医師会	・医師会は、市、町と連携して、集団乳幼児健診をおこなった。 ・4ヶ月を24回、1歳8ヶ月を24回、3歳4ヶ月を24回、発育発達相談を12回に医師を派遣した。
	草加八潮 医師会	小児科、産婦人科を標榜している医師及び医療機関が中心となって、診察や相談等に対応した。
	越谷市 歯科医師会	母親学級・妊産婦歯科検診で、埼玉県・埼玉県歯科医師会作成の「お口の母子手帳」を活用し（ダウンロード可能）妊娠中から出産、産後から6歳までの歯育て・口の急なけがをしたときの対応をわかりやすく説明し、妊産婦の方に理解していただき安心・安全な支援を行うことを周知徹底しています。
	獨協医科大学 埼玉医療 センター	院内の母親学級、乳幼児健診と予防接種の実施
	春日部市民 生委員・児 童委員協議 会	「子育てサロン」 子育て中の親子を支援する取り組みとして年間を通じて月に2回定期開催。 主任児童委員の他に保育士、助産師、家庭児童相談員も参加するため専門的な相談を受けている。 令和元年度利用実績（参加者数）・あしすと春日部開催分（親271名、子302名） ・武里市民センター開催分（親232名、子247名）
	春日部市	【こども相談課】 ・子育て世代包括支援センター(ぽっぽセンター)に、助産師、保健師の専門職員を配置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行ってきた。 ・相談体制をさらに充実させるため、毎月第1・第3月曜日については、助産師1人を増員し2人体制とした。 利用実績：5,844人
	草加市	・子育て世代包括支援センターの設置に向けて準備を行い、10月には準備室を立ち上げ、令和2年3月から運用を開始した。
	越谷市	・平成30年4月に子育て世代包括支援センターを市役所と保健センターの2か所に開設した。子育て世代包括支援センターでは、母子健康手帳を交付する際に、保健師や助産師などの専門職が、妊婦さん全員と面談を実施し、本人の体調や育児不安の有無、生活状況などを把握しながら、仕事と子育ての両立などの様々な悩みや不安に対する相談や、子育てに関するサービスなどの情報提供を行い、安心して出産・子育てが出来るよう、妊娠中からのサポートを行った。 令和元年度 母子健康手帳交付数 2,863件 支援プラン作成数 262件
八潮市	「にじいろ子育て相談室（子育て世代包括支援センター）」において、専任の保健師または助産師を常時1人配置し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談支援を行った。 ・母子健康手帳交付時面接人数 1,046人 ・来所相談 144人 ・電話相談 755人	

妊 娠 期 か ら 子 育 て 期 の ま で 構 築 切 れ 目 の な い 支 援 体 制	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師が随時、母子の健康に関する相談及び指導を行った。 延実施者数：訪問指導 1,210人、来所相談 217人、電話相談 3,015人。 ・子育て支援ステーションほほえみ（子育て世代包括支援センター）で妊娠届出時等に妊婦との面談を実施し、支援が必要な場合には支援プランを作成し、妊娠・出産・子育てに関する相談支援を実施。 ・子育て情報を掲載した「にこにこ子育て応援ガイド」を作成し妊娠届出時等に配布。 ・利用者支援事業（基本型・特定型・母子保健型）を実施し、子育て支援施設や保育所等の利用に関する相談や情報提供を実施。
	吉川市	「子育て世代包括支援センター」を設置。母子手帳交付時の面接等によりアセスメントを行い必要に応じてサービスや他機関を案内。
	松伏町	平成31年4月、子育て世代包括支援センターを設置した。母子手帳交付時に保健師との面接を実施し、特定妊婦等について、関係機関を交えてケースカンファレンスを実施している。支援プランを計画し、その後の支援につなげる切れ目のない支援体制が構築できた。
	草加 保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度母子保健連携調整会議（妊娠期からの虐待予防強化事業関係者会議兼ねる）（令和元年5月24日実施：10人参加、令和2年2月21日実施：21人参加） ・小児慢性医療給付申請時の療養状況確認（面接等）実施（令和元年度未承認件数532件） ・小児慢性受給児対象の長期療養児教室（令和元年10月24日実施：16人参加） ・子どもの心の問題に関する研修会（令和元年8月29日実施：41人参加） ・小児精神保健医療推進連絡会議（令和2年1月23日実施：28人参加） ・管内4市の要保護児童対策地域協議会等に出席（計44回）
	春日部 保健所	<p>医療機関と市町の連携強化のため、医療・保健等の関係職員を対象に連携会議及び事例検討会等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からの虐待予防強化事業連携会議（10月31日 参加者 41人）
② 小 児 救 急 医 療 体 制 の 維 持 ・ 充 実	春日部市 医師会	平成28年7月より春日部市立医療センターの開設と同時に現在の体制がスタートした。医師会、行政、医療センターが連携をとり、外部の医療機関からもさらなる医師の派遣体制を確立することで、平日夜間の小児救急医療の整備、充実を図った。
	越谷市 医師会	越谷市が公設公営設置している夜間急患診療所において、小児科専門医をはじめ医療スタッフを派遣し、初期救急に対応している。越谷市立病院や獨協埼玉医療センター小児科との後方連携による二次救急にも対応している。
	吉川松伏 医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・小児時間外診療事業として、14医療機関に於いて、平日午後7時から10時まで当番制で実施した。（吉川10医療機関、松伏4医療機関） ・令和元年度は、236日を実施した。また、受診者数は452件、電話相談52件であった。また、二次救急へ20件を紹介した。
	草加八潮 医師会	草加市子ども急病夜間クリニック、八潮市休日診療所に医師派遣を行うなど積極的に対応した。 実績値 草加市子ども急病夜間クリニック 4,911人/年 八潮市休日診療所 1,086人/年
	三郷市 医師会	日曜・祝日の休日診療所の運営、平日夜間の輪番制による小児時間外（初期救急）診療及び土曜日夜間の休日診療所を利用したの同診療体制の実施。

② 小児救急医療体制の維持・充実

春日部市 薬剤師会	春日部市小児救急夜間診療所へ薬剤師派遣。 休日当番薬局（輪番制）。
越谷 市立病院	小児救急医療支援事業に輪番制病院として参加。
獨協医科大学 埼玉医療 センター	小児二次救急輪番への参加、重症患者への救急対応
春日部市	【健康課】 ・在宅当番医制による祝休日の初期救急・・・1日につき3か所（内・外・小児）実施。76日開所、受診者数4,788人（小児のみ）。 ・平日夜間の小児初期救急・・・春日部市小児救急夜間診療所の開所（年未年始を除く）。240日開所、受診者数740人。 ・東部南地区（6市1町）による小児二次救急・・・6医療機関により夜間366日+祝休日昼間76日実施。救急搬送人員数3,250人。
草加市	・夜間及び休日の子どもの応急的な初期診療を行うため「子ども急病夜間クリニック」を運営し、365日の診療に対応した。
越谷市	・休日当番医制事業（休日、年未年始）を実施した。 ・越谷市夜間急患診療所において、小児科の診療を毎日実施した。 令和元年度 受診者数 2,787人 ・埼玉県東部南地区の構成市町と連携し、小児救急医療支援事業を実施した。 また、越谷市立病院も輪番制病院として参加した。
八潮市	日曜、祝日、振替休日及び年未年始に初期救急診療（休日診療所）を実施した 【R1年度】 ・1歳未満 56人 ・1歳～就学前 365人 ・小学1年～15歳 214人
三郷市	・小児時間外（初期救急）診療事業を当番医療機関で実施した。509人 （月～土曜日の19時～21時まで実施） ・休日、日曜夜間診療を医師会立休日診療所で実施した。3,263人 （日曜・祝日・休日及び年未年始の昼間は10時～12時と14時～16時、日曜の夜間は18時～21時） ・埼玉県東部南地区の構成市町（6市1町）と連携し、第二次救急小児救急医療支援事業を実施。
吉川市	埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会において小児救急医療支援事業を実施。
松伏町	・小児時間外（初期救急）診療を吉川市と連携して、吉川・松伏医師会協力を得て実施した。 ・埼玉県東部南地区の構成市町（6市1町）と連携し、小児救急医療支援事業（2次救急）を実施した。
草加 保健所	・埼玉県東部南地区第二次救急医療体制を適切・円滑に運営するため、令和元年度下半期及び令和2年度上半期の第二次救急医療病院群輪番制病院及び小児救急病院当番表を管内関係機関に配布した。

②	春日部 保健所	埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会に参加し、状況の確認、意見交換を行った。
③ 小児医療に関する情報提供と適切な受診方法の普及啓発	越谷市 医師会	当会ホームページ上にある「医療機関検索」を、より分かり易く、より使い易くなるようバージョンアップし公開している。また、夜間急患診療所を利用した患者保護者に対して、「かかりつけ医」の重要性と子どもの健康について丁寧に説明し対応している。
	吉川松伏 医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・市、町と連携し、小児時間外診療事業の実施医療機関等のリーフレットを作成し、住民配布をした。 ・医師会ホームページにおいて、小児時間外診療事業の実施医療機関の情報を公開した。 ・夏季・年末年始の医療機関の診療状況についてもホームページにおいて公開した。
	草加八潮 医師会	草加市、八潮市と連絡を図る中、情報提供、健診事業、予防接種事業への協力を積極的に行った。
	三郷市 医師会	市及び医師会ホームページでの小児救急医療に関する案内。
	越谷市 歯科医師会	越谷市内の保育所歯科医（公・私立）学校歯科医が健診。保育所での講和、学校保健会等で、教職員、保護者に健診結果の対応方法、受診方法の情報提供を行っています。また緊急時の歯・口のけがへの対応も併せて行っています。
	獨協医科大学 埼玉医療 センター	<ul style="list-style-type: none"> ①「こども医療でんわ#8000」の案内 ②小児科医会作成の「こどもの病気、健康、事故、虐待」に関するポスターの掲示 ③埼玉県委託事業として、「発達障害支援指導者研修」「子育て支援研修」を開催 ④保健所、保健センターでの発達・精神相談
	埼玉県 看護協会	5月13日 ララガーデン春日部において助産師2名による育児相談を実施 相談者5名
	春日部市	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報9月号において、適切な受診方法の周知。 ・令和元年度ゴミニケーション・健康情報カレンダーに「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」の啓発文を掲載し周知。 ・市広報、公式ホームページ等により、「埼玉県救急医療相談」の周知。
	草加市	・広報やホームページを通じて、急な病気やけがへの対処方法として、埼玉県救急電話相談についての情報提供を行った。
	越谷市	・広報誌やホームページ等を活用し、埼玉県救急電話相談（#7119）や夜間急患診療所の情報提供を実施した。
八潮市	市の広報誌やホームページに埼玉県小児救急電話相談（#7119）や休日・夜間診療所の案内等を掲載し、情報提供を行うとともに適切な受診方法の普及啓発に努めた。	
三郷市	・埼玉県救急電話相談（#7119）や埼玉県小児救急電話相談（#8000）と、小児時間外（初期救急）診療体制について、当市発行「健康のしおり」（全戸配布）やホームページに掲載し、情報提供を行うとともに、適切な受診方法の普及啓発に努めた。	
吉川市	案内配布やポスター掲示などにより埼玉県救急電話相談（#7119）を周知。	

③	松伏町	・小児時間外（初期救急）診療当番表を作成して、3月及び9月に全世帯に配布するとともに、広報誌やホームページに当番表を掲載した。 ・小児救急電話相談（#8000）を広報誌やホームページに掲載し、適切な受診方法の啓発に努めた。
	草加保健所	・急な病気やケガに対する県民の不安の解消と軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減のため、埼玉県救急電話相談（#7119）に係るPRカードを来所者に配布した。
	春日部保健所	急な病気やけがに対する県民の不安解消と軽症患者の集中による救急医療機関の負担軽減のため、埼玉県救急電話相談（#7119）に係るPRカードの配布。

【2 生活習慣病を踏まえた健康づくり対策】

【主な取組】＜実施主体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、看護協会、市町、保健所＞

① 食生活、運動	春日部市医師会	入居するふれあいキューブ健康祭や各公民館での会員による健康講話等を引き続き実施した。
	吉川松伏医師会	・市と町と連携し、ノルディックウォーキングなどの促進のために、医療機関窓口にポスター掲示やリーフレットの配布をおこなった。
	草加八潮医師会	生活習慣病予防に向けて正しい知識の普及啓発など、草加市、八潮市が実施する市民健康教育や公開講座等に積極的にした。
	越谷市歯科医師会	「お口と栄養と運動の元気塾」の開催。-フレールを予防しようー オーラルフレールの重要性について理解していただき実際にアセスメントを行い評価し、普及啓発を行いました。令和2年度も継続して行っています。
	春日部市薬剤師会	春日部市健康まつりにて、薬の相談会の実施。
	埼玉県看護協会	5月13日 ララガーデン春日部において、健康相談・栄養相談等を実施 来場者216名 5月10日 新越谷駅において健康相談、血管年齢測定、骨密度測定等を実施 来場者348名
	草加市食生活改善推進員協議会	ヘルシー料理教室、男性料理、イベント、幼児検診等で試食レシピを広く配布し知識の普及に取り組みました。
	越谷市食生活改善推進員協議会	スローガン“私達の健康は私達の手で”栄養士さんの学習会や外部研修にも参加。レシピ作成、会員実習し、レシピ検討会。 生活習慣病予防のための食生活改善支援事業として県委託事業で年1回市民向けに会員指導のもと調理実習（講話含む） （令和元年）ご飯、鶏のささみと小松菜のとろみ炒め、切り干し大根とツナの和え物、マイタケのみそ汁、カボチャの茶巾（24名参加/満席）保健センター。 ・ひのき荘（定員10名）では、高齢者向けに、時短バランス料理

等に関する正しい知識の普及や情報提供	春日部市	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防教室(お手軽クラス)…ミニ講話と運動または調理実習 年8回 対象20歳から64歳参加者数 90人 ・生活習慣病予防教室(ヨガクラス)…ミニ講話とヨガ 年6回 対象20歳から59歳 参加者数154人 ・骨密度測定会…骨密度測定と集団指導 対象20歳以上 年14回 参加者数596人 ・健康長寿サポーター養成講習…年23回 参加者数 732人 ・食育講座…栄養講義と調理実習 年2回 参加者数 34人 ・ウォーキング教室…年2回 参加者数 93人
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病や高血圧・脂質異常症などの生活習慣病の予防や改善だけでなく、多くの人が健康を保持し、おいしくバランスよく栄養が摂れ、献立を考える手間が省けるよう、「1週間バランスレシピ集」を作成・配布した。(10,000部)
	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進を図るために調理実習を行った。 男の料理教室11回、177人参加。ヘルシークッキング11回、223人参加。 ・食育講演会1回、230人参加。 ・市民健康教室8回、184人参加。 ・メタボリックシンドローム予防のための減量をサポートする講座を実施した。 チーム-3キロ35回、326人参加。 ・運動セミナー2回、46人参加。 ・運動習慣を身につける目的教室を実施した。 健康体操教室59回、2,517人参加。 ・食生活改善推進員による料理教室14回、220人参加。
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・年間10回の健康相談会、20-39歳向け健診の結果説明会、随時の健康相談において個人に合わせた保健指導を実施した。 ・健康講座(運動、栄養、疾病予防)、料理教室等を実施し、食生活、運動などに関する知識の普及や情報提供を行った。 ・月1回、健康づくりの料理教室にてバランスの良い食生活の講話と調理実習を行った。 ・地域住民の健康づくりを推進する「食生活改善推進会」の定例会(月1回)にて食生活の改善に関する研修を計画的に行った。 ・健康づくりの一環としてウォーキング講習会を実施した。3日間で延133名が参加した。 ・広報、ホームページ、チラシ、ポスター等による健康づくりに関する広報活動を実施した。 ・出前講座等で生活習慣病予防についての講話や「健康長寿サポーター養成講習」を実施した。 ・健康長寿サポーターあての通知に健康情報を掲載し情報提供を行った。 ・夏休み期間に「親子料理教室」を行った。

① 食生活、運動等に関する正しい知識の普及や情報提供	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・「すこやかみさと健康体操」の普及・実施 <p>三郷市民の歌に合わせて、歌いながら楽しく身体を動かせる体操を普及及び推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市民向けの普及講習会3回を2クール実施した。 ②町会や団体の要請を受けて、普及員を派遣し体操の普及を行った。 ③市民まつりや生涯学習フェスタでステージ発表を行った。 ④他市町からの視察の受け入れを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・たばこの害を周知 <ul style="list-style-type: none"> ①8月のmisatostyle、11月の市民まつりにてパネル展示を行い、たばこの害について周知を行った。 ②乳児健診会場に受動喫煙に関するパネルを展示した。 ③ハローベビー教室の会場で、たばこの害に関する啓発品の展示を行った。 ④「喫煙と健康」のパンフレットを作成し、母子健康手帳発行時と健康づくり協力店に配布した。 <ul style="list-style-type: none"> ・成人を対象に行った集団健康教育において、食生活や運動に関する正しい知識の普及啓発や情報提供を行った。延参加者数：1,974人 ・食生活や栄養でお困りのかたに、地域の各所で栄養士による栄養相談を行った。延実施者数：100人 ・三郷市体力向上推進委員会にて体力向上や健康教育に関する充実した取組を推奨し、各校では「生活習慣アンケート」「健康チェックカード」「健康ちょきんカード」等の実態調査やセルフチェックを行う取組を行った。また、家庭でも取り組める運動等を紹介し、各校で実施した。
	吉川市	保健センターに「食育コーナー」を設置。出前講座等により知識の普及を実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座（団体、サークル）、母子手帳交付時、健康相談、各種教室、特定健診来所者への教育、健康展を開催した。広報やホームページに掲載。運動サークルや糖尿病予防サークルメンバーの継続フォローを実施した。 ・食生活改善推進員と連携し、食に関する正しい知識の普及と生活習慣病予防を目的に団塊の世代を中心とした男の料理教室を実施した。 ・生活習慣病予防、介護予防として『気軽にノルディックウォーキング』を実施した。なお、運動前に保健師等による健康講座を実施し、健康に関する情報を発信しており、様々な情報について参加者からのクチコミ等により、広く町民に伝わるよう草の根的な活動をした。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導（延41人）、給食施設指導(273施設)を実施した。 ・栄養関係団体職員への栄養・健康づくり等についての研修会・会議を開催した(年4回、171人)。 <p>他、3月に2回の研修を企画していたが、新型コロナウイルスの影響により中止した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿サポーター養成講座（年1回、23人）を実施した。 ・健康づくりに関するリーフレット等を来訪者に配布した。 ・管内市栄養士への効果的な健康長寿推進のための会議を開催した（年1回、12人） ・管内地域活動栄養士会の勉強会に出席（年4回 出席者31人）
	春日部保健所	<p>食育推進事業及び給食施設、栄養関係団体等の育成・指導を通じて、食生活改善や健康づくりの啓発普及と支援を実施。</p> <p>「給食施設研修会」、「健康長寿サポーター養成講習」、「医療・介護連携のための食支援研修会」、「栄養成分表示講習会」等</p> <p>(計32回延べ443名)</p>
春日部市医師会	特定健診、特定保健指導を原則、同一の医療機関で実施することで、対象患者の病識の向上、実施率の向上に寄与した。	

①	越谷市 医師会	当会では、医療機関で行う施設健診と公共施設を利用した集団健診を実施している。また、特定健診実施後の結果通知発送の際に、越谷市が作成した保健指導に係る資料を同封し、市民の健康に対する意識啓発に努めている。令和元年度実績は、施設健診・集団健診合計38,643人。
	吉川松伏 医師会	・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 19日間実施 2,538件 ・吉川市個別 16医療機関で実施 4,825件 ・松伏町集団 21日間実施 1,948件 ・松伏町個別 10医療機関で実施 467件
	草加八潮 医師会	草加市、八潮市と連携を図る中、情報提供、健診事業、予防接種事業への協力を積極的に行った。
	三郷市 医師会	集団・個別特定健診及び特定保健指導の実施。
	埼玉県 看護協会	5月13日 ララガーデン春日部において、健康相談・栄養相談等を実施 来場者216名 5月10日 新越谷駅において健康相談、血管年齢測定、骨密度測定等を実施 来場者348名
②	全国健康保 険協会埼玉 支部	加入者に対する特定健診、特定保健指導を通年で実施した。 ・被保険者 生活習慣病予防検診（特定健診） ・被扶養者 特定健診受診 ・被保険者 特定保健指導 ・被扶養者 特定保健指導
	春日部市	【国民健康保険課】 ・特定健診：令和元年6月1日～10月31日まで市内医療機関（65医療機関）で実施。受診率47.0% ・特定保健指導：動機付け支援は市内医療機関（特定健診を受診した医療機関）で実施。積極的支援は業者委託で実施。実施率11.4%
	草加市	・40～74歳の国民健康保険被保険者を対象に、特定健診受診券を送付した。 ・健診未受診者に対し、ハガキや通知、電話にて受診勧奨を実施し、生活習慣病の早期発見につながるよう努めた。 ・生活習慣病のリスクが高い受診者に対し、保健指導を実施し、早期の段階での治療を促進した。

<p>特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進</p>	<p>越谷市</p>	<p>《特定健診の実施》</p> <p>【実施期間】 6月1日から11月10日</p> <p>【個別健診】 市内91医療機関で実施</p> <p>【集団検診】 9月上旬から10月までの土曜日を含む39日間、市内公共施設で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全対象者へ受診券、受診案内、生活習慣病予防リーフレットを送付（55,365件） ・特定健診項目に血清クレアチニン、eGFR、貧血検査を受診者全員に追加、また、医師の判断により心電図、眼底検査（後期高齢者は除く）を実施。 ・特定健診結果通知に、健診項目の検査内容説明を情報提供。 <p>《受診促進》</p> <p>【広報活動】 市ホームページ（期間中）、広報誌（6月号、8月号）、メール配信サービス（1回）、特定健診受診啓発ポスターを実施医療機関91箇所と自治会に配布、越谷商工会議所広報誌（9月号）・J A越谷市の広報誌（8月号）に受診促進記事掲載、自治会回覧板にて周知（市内全域）、健診受診啓発カード（名札貼付用）着用(8月から10月)</p> <p>【受診勧奨キャンペーン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未受診者へ受診勧奨はがきを期間中に2回送付（1回目7月 52,856件・2回目9月 17,138件）、電話による受診勧奨（コールサービス）（40歳代・50歳代を中心とする800件） ・市民まつりで特定健診受診促進イベントを実施（血管年齢測定） ・東部地区保険者と合同でイオンモール春日部において、けんこう大使の着ぐるみを活用したPRイベントを実施（血管年齢測定設置） ・特定健診受診啓発うちわ（3,000枚）を作製。 ・特定健診受診啓発車両用マグネットシートを公用車に貼付 ・特定健診結果説明会の実施 <p>《特定保健指導の実施》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診結果より特定保健指導対象者を抽出し保健指導を行い、保健指導未利用者に対しては、ハガキや電話による利用勧奨を行った。 ・健康増進法に基づく健康診査を実施し、対象者に保健指導を行った。 <p>受診者数335人（受診率11.8%）。保健指導実施者数3人（実施率8.3%）。</p>
<p>特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療の促進</p>	<p>八潮市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月広報やしおに国保コーナーを設けて、特定健診・特定保健指導の受診（利用）勧奨や健康管理の重要性などの記事を掲載している。 ・市ホームページに、特定健診の受診勧奨に係るコンテンツを掲載した。 ・メール配信サービスで特定健診の受診勧奨や健診関係のPRイベントの開催等を周知した。 ・特定健診受診啓発ポスターを作成し、実施医療機関及び公共施設に掲示した。 ・市内の各種イベントや東部地区15市町と合同でPRイベントを実施した。 <p>●特定健診（受診者数 4,718名）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自己負担金のワンコイン(500円)化及び40歳の自己負担金無料化 ②受診期間中の電話勧奨の実施 ③未受診者へ再勧奨はがきの送付 ④各種イベント等での受診勧奨PR活動の実施 <p>●特定保健指導（終了者数 80名）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保健指導未利用者へは再募集を実施 <p>●人間ドック・脳ドック補助金女性事業(申請者数 111名)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①満40歳以上の国保被保険者を対象に、人間ドック・脳ドックに要した費用の7割（25,000円）を助成する。

療 の 促 進	② 特 定 健 診 や 特 定 保 健 指 導 に よ る 生 活 習 慣 病 の 早 期 発 見 ・ 早 期 治	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・母子愛育会へ受診勧奨（声かけ）及び市内掲示板への特定健診等周知ポスター掲示の業務委託。 ・レディースデイに託児を設け、子育て中の女性が受けやすい体制を整備した。 ・集団健診時に血管年齢測定を19回実施。 ・集団健診において食育事業とのコラボレーションを実施した。（食改への委託事業） ・30代健診結果で特定保健指導基準に該当（年齢以外）するものについて、個人の特性に応じたパンフレットの同封と生活習慣改善に関するコメントを記載し送付した。 ・特定保健指導未申込者（集団健診受診者）に対し、保健師等が架電し積極的な利用を促した。 ・特定保健指導未申込者に対して、特定保健指導利用勧奨通知を送付した。 発送数：662件 ・特定健診未受診者（過去5年間受診歴がある者）に対して個別のアドバイスシートが記載されている特定健診受診勧奨通知を送付した。 発送数：3,364件
		吉川市	アポなし訪問や休日、勤務時間外の面談の実施、健診当日の個別指導などの取組を実施。特定保健指導実施率60.4%を達成。
		松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診券送付時に歯科保健に関する資料を同封し、歯周病予防の啓発を実施した。 ・受診者の都合に合わせ、集団健診、個別健診を実施した。集団健診では、保健師・栄養士による生活習慣病予防についての講話を実施した（町統計データ等）。 ・特定健診未受診者に対し、ハガキによる受診勧奨を実施した。 ・特定保健指導対象者に保健師・栄養士による保健指導を個別面接で実施した。個別面接ができなかった方には、電話または、資料を送付して、生活習慣病の予防啓発を実施した。 ・特定保健指導では、休日開催も取り入れ、より参加しやすいよう工夫した。 ・健診結果により、各種栄養教室を案内し、実施した。 ・健康展において、血流測定を実施し、健康診断受診の必要性、生活習慣の改善について助言している。
		草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・働く世代の健康づくりや特定健診受診率向上のための会議を開催した(年1回、12人) ・管内市へ特定健診啓発用のぼり旗の貸し出しを行った。 ・生活習慣病予防、受動喫煙対策等含めた健康に関する情報提供を食品衛生管理者等に行った。（年6回、539人） ・効果的な特定指導を実施するための研修会を3月開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
		春日部保健所	<p>東部地域の市町職員を対象に、県国保医療課及び埼玉県国民健康保険団体連合会と連携し、「データヘルス推進に係る拠点保健所別研修会」を実施。（31名参加）</p> <p>地域の保健事業等の状況把握と情報交換のため、「食育・健康づくり担当者連絡会議」「特定健診保健指導連携検討会議」の開催。（2回延べ12名参加）</p>
		春日部市医師会	平成29年度より開始された胃がん内視鏡検診について、市民に啓蒙、普及に努めるとともに、勉強会、研修会を開催することで読影技術の向上を図った。各種がん検診それぞれで対策委員会を開催することで、受診率の向上に努めた。
③ が ん		越谷市医師会	各種がん検診実施医療機関には実施内容ポスターを院内掲示してもらい、来院者への受診推進啓発活動を行ってもらっている。
		吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会は、市町から事業を受託し、集団健診と医療機関で行う個別健診を実施した。 ・吉川市集団 4,793件 ・吉川市個別 16医療機関で実施 6,994件 ・松伏町集団 5,939件 ・松伏町個別 9医療機関で実施 529件

検診受診率の向上	草加八潮 医師会	がん予防に向け、草加市、八潮市と連携・協力し、積極的な普及啓発に努めた。
	三郷市 医師会	集団・個別がん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮）の実施。
	越谷市 歯科医師会	口腔がん検診は、平成24年5月1日より診療所単位で個別に行われ、市民の関心は益々高まり受信者も増加しています。重症化させないために継続して普及啓発を行っています。
	埼玉県 看護協会	5月13日 ララガーデン春日部において、健康相談・栄養相談等を実施 来場者216名 5月10日 新越谷駅において健康相談、血管年齢測定、骨密度測定等を実施 来場者348名
	全国健康保険協会埼玉支部	加入者が特定健診及びがん検診を併せて受診できる機会を拡大した。 ・被保険者 生活習慣病予防健診には胸部・胃部レントゲン検査、便潜血反応検査が含まれ、乳子宮頸がん検査は追加で受診することができる。生活習慣病予防健診を埼玉県のがん検診補助事業と連携し拡大に努めた。 ・被扶養者 県内8市町とがん検診と特定健診を併せて受診できる集団健（検）診を実施した。
③ がん検診受診率の向上	春日部市	【健康課】 各がん検診について受診勧奨通知を送付 ・胃がん検診…50歳・55歳・60歳の方（9,609人） ・乳がん検診…40歳～60歳の偶数年齢の方（16,477人） ・子宮がん検診…25歳・30歳・35歳・40歳・45歳の方（6,145人） ・肺がん検診…国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者の特定健診対象者（全員） ・大腸がん検診…国民健康保険加入者・後期高齢者医療制度加入者の特定健診対象者（全員） ・その他（全がん検診の受診案内）…40歳の方（2,684人）
	草加市	・胃がん検診について、従来からのバリウムのほか、内視鏡検査を導入し、検診の選択肢を広げた。 ・40歳、45歳、50歳、55歳になる女性に対してがん検診等の個別勧奨通知を行った。（計7,413人） ・国民健康保険の特定健診及び後期高齢者健診受診通知にがん検診のお知らせを同封した。
	越谷市	・各種がん検診の周知と受診率の向上を図るため、広報・ホームページ・Cityメールの掲載や、個別勧奨ハガキを通知した。 ・胃がん検診 受診者数13,454人（受診率6.6%）。 ・子宮頸がん検診 受診者数10,217人（受診率7.1%）。 ・乳がん検診 受診者数8,263人（受診率13.3%）。 ・大腸がん検診 受診者数20,540人（受診率10.1%）。 ・肺がん検診 受診者数24,509人（受診率12.0%）。
	八潮市	①子宮頸・乳がん検診の無料クーポン券や受診勧奨通知の送付 ②胃・肺がん検診の受診勧奨通知の送付 ③保健センター事業や健康まつり、市民まつり等でのPR ④40歳到達者への各種受診券及び勧奨通知の送付 ⑤精検未受診者に対する精検受診勧奨通知の送付、受診勧奨電話及び精検結果の把握
	三郷市	・乳・子宮頸がん検診無料クーポン券対象者のうち、8月末時点で未受診のかたに対して圧着タイプの受診勧奨ハガキを送付した。発送数：乳がん検診 894件 子宮頸がん検診 540件 ・年度末時点で41～49歳の市民で、過去5年間の受診歴が不定期受診の者のうち、8月末時点で肺がん検診未受診者に対して圧着タイプの受診勧奨ハガキを送付した。発送数：1,299件 ・年度末時点で40歳代の市民のうち、8月末時点で肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん検診未受診者に対して圧着タイプの受診勧奨ハガキを送付した。発送数：1,625件

	吉川市	乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポンを対象者に送付。広報・ポスター等によるがん検診の受診勧奨を
	松伏町	・特定健診受診券送付時にがん検診受診勧奨を実施した。 ・集団健診時、がん検診も同時実施とし、受診しやすいよう、休日も受診可能とした。また、受診者の都合により、個別健診も可能とした。
	草加保健所	・生活習慣病予防、受動喫煙対策等含めた健康に関する情報提供を食品衛生管理者等に行った。(年6回、539人) ・健康長寿サポーター養成講習会を実施し生活習慣病予防対策やがん検診の受診勧奨を行った。(年1回、23人) ・効果的に働く世代の健康づくりを実施するために管内市担当者を対象に健康課題対策会議を開催した。(年1回、12人)
④ 糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進	春日部市医師会	会員医療機関における市町村、協会けんぽの実施する重症化予防事業への参加、推進を積極的に呼びかけた。
	越谷市医師会	重症化予防事業を会員医療機関に周知し、積極的な事業参加を呼び掛けている。
	吉川松伏医師会	・市と町と連携し、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、医療機関への受診勧奨の対象となった方の方のに対するの医療機関への協力周知を行い、糖尿病重症化リスクの高い方の人工透析への移行を防止するよう努めた。
	草加八潮医師会	国民健康保険(草加市、八潮市)や各種健康保険組合等で実施している特定健康診査事業に積極的に取り組み、啓発等に必要な講師派遣を行った。
	三郷市医師会	糖尿病週間と連動した、市民を対象とした啓発講座の実施。
	越谷市歯科医師会	糖尿病患者に対する歯周病治療ガイドライン(日本歯周病学会)をもとに歯周病・糖尿病の関連・予防の大切さを「歯周病検診」において周知徹底しました。歯周病の若年層の予防的見地から「歯周病検診」の対象年齢が35歳から行っていることをポスターを活用し市民へ周知しています。
	春日部市薬剤師会	糖尿病性腎症重症化予防対策事業への参画。
	埼玉県看護協会	5月13日 ララガーデン春日部において、健康相談・栄養相談等を実施 来場者216名 5月10日 新越谷駅において健康相談、血管年齢測定、骨密度測定等を実施 来場者348名
	全国健康保険協会埼玉支部	・糖尿病重症化予防プログラムに則り、かかりつけ医と連携した重症化予防事業を推進した。 また、かかりつけ医に協力を得るため、群市医師会へ協力依頼を行った。 ・生活習慣病予防健診の結果、高血圧、高血糖者に対し、文書・電話による治療勧奨を行った。

④ 糖尿病の発症及び重症化予防対策の推進	春日部市	<p>【国民健康保険課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防事業（受診勧奨、保健指導、継続支援）を実施。 ・受診勧奨：未受診者や受診中断者に対し、受診勧奨の通知を送付。未受診者199通、受診中断者16通。 ・保健指導：糖尿病性腎症2期～4期の者に専門職（保健師・管理栄養士等）による保健指導を実施。通知発送数809通、参加者数38人（参加率4.7%）、修了者数32人。 ・継続支援：保健指導修了者に対し、継続支援の保健指導を実施。通知発送数89人、参加者数13人（参
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病のリスクがある未受診者や受診中断者に対して、個別に受診勧奨通知書を送付し、非専門職より再度の勧奨（電話）を実施した。また、健診値が悪い方等には専門職より強めの勧奨（電話）を実施した。 ・糖尿病の重症化リスクの高い者のうち、保健指導プログラムへの参加について、本人及びかかりつけ医の同意があった者を対象とし、保健指導を実施した。
	越谷市	<p>《生活習慣病重症化予防対策事業》</p> <p>埼玉県と国保連合会の共同事業に参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関未受診者への受診勧奨（202人）受診中断者への受診勧奨（45人） ・保健指導（R1 申込者数33人） ・糖尿病予防を目的に、ウォーキング教室や栄養講座を行った。全2回、62人参加。 ・糖尿病に関する栄養講座を行った。5回、63人参加。 ・生活習慣病予防セミナー（糖尿病）を開催した。1回、89人参加。
	八潮市	<p>埼玉県・埼玉県国民健康保険団体連合会との共同として「糖尿病性腎症重症化予防対策事業」に参加。令和元年度は生活指導参加者6人への保健指導を実施した。</p> <p>①受診勧奨者数 75名 ②保健指導参加者数 6名</p>
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県生活習慣病重症化予防対策事業への参加 保健指導終了者数：7人 ・健診結果から、集団検診においてHbA1c8.0%以上の未治療者を対象として、保健師が訪問指導を実施した。訪問数：22件
	吉川市	<p>特定保健指導を中心に糖尿病の発症及び重症化予防対策を推進。</p>
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果により、糖尿病の発症予防を踏まえた特定保健指導を実施した。また、健診結果から、糖尿病予防教室を案内し、実施した。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿課主催の糖尿病性腎症重症化予防対策に係る二次医療圏単位の対策会議（東部医療圏）に管内市とともに出席し、糖尿病重症化予防施策の実施状況について情報共有を行った（年1回、22人）

【3 心の健康対策】

【主な取組】＜実施主体：医師会、薬剤師会、病院、民生委員・児童委員協議会、市町、保健所＞

① 精神保健に係る関係機関との連携強化	越谷市 医師会	越谷市精神保健福祉専門相談事業や埼玉県福祉部嘱託医（更生相談）等に対し、順天堂大学医学部付属越谷病院や獨協医大埼玉医療センター専門医の推薦・派遣協力を行っている。
	草加八潮 医師会	草加市、八潮市と連携・協力しながら、心に悩みを持つ方やその家族等に対して、精神科医（心療内科医）による適切な相談や診断（診察）を行った。
	三郷市 医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる関係機関間の情報共有及び連携の強化。
	獨協医科大学埼玉医療センター	埼玉東部地域の保健所、医師会、薬剤師会、市町との連携の下に、診療と医療連携を通して、情報交換を行った。
	草加市立病院	精神科の専門クリニック・病院へ紹介している。
	埼玉県 看護協会	10月19日 越谷中央公民館において「自分の人生をデザインしてみませんか？」～アドバンスケアプランニングの実践に向けて～」講師：足立智孝氏
	春日部市	【健康課】地域支援生活センター主催の関係者連絡会に参加…参加機関：市保健福祉部門職員、月1回 【障がい者支援課】保健所、相談支援事業所、市の関係課が参加し、お互いの役割の確認や情報共有を
	草加市	・高齢化、重複障害、子育てなど家族が抱える問題が多様化しており、世帯全体への支援が必要な事例が増加しているため、保健所、医療機関、相談支援事業所、包括支援センター、子育て支援センター、訪問看護事業所等と連携し、情報共有のほか役割分担、方針の統一を図った。
	越谷市	・個別ケースカンファレンス 関係機関と随時ケースカンファレンスを実施し、支援体制を確認し、必要に応じ受診援助や同行訪問等を行った。 庁内：障害福祉課、生活福祉課、地域包括総合支援センター、教育センター、消防本部等 庁外：精神科医療機関、警察、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、児童相談所等 ・自殺対策 市内三次救急医療機関及び消防本部と連携し、自殺未遂者相談支援事業を実施した。同意の取れた自殺未遂者又はその親族等に対し、病院等で面接相談を行い6ヶ月以上継続支援を実施した。また、不搬送者に対し、救急隊より再企図防止リーフレットを配付した。 (支援件数：20件) 警察署、東武鉄道、越谷アルファーズ（バスケットボールチーム）の協力のもと市内駅頭キャンペーンを行い、自殺予防普及啓発品を配布した。 (実施日：9月10日、12月23日、配布数：計1,000組)
	八潮市	・随時、保健所や医療機関、相談支援事業所等と連携を図った。
三郷市	・三郷市自殺対策計画策定部会、三郷市自殺対策計画策定懇話会を設置し、三郷市自殺対策計画を策定した。 ・医療機関、地域事業所も含めた事例検討の場への参加 ・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けて、医療・福祉・介護等を含めた協議の場を設置し、検討を進めてきた。	
吉川市	精神障がい者家族会への補助金支出など支援を実施。	

松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談」を実施し、必要に応じて関係機関と連携した。 ・ 年3回、関係機関と精神連携ケース会議を実施した。
草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所管内連絡会議（精神障害者を地域で支えるシステム構築事業会議・研修含む）（年2回実施） ・ 医療ケア観察法ケア会議（計8回出席） ・ 管内4市の会議に出席 草加市：障害者自立支援協議会精神部会・地域包括ケアブロック会議・地域包括ケア会議等（計2回出席） 八潮市：精神保健福祉ネットワーク会議・地域包括支援センター協議会・自立支援協議会等（計2回出席） 三郷市：地域自立支援協議会・障がい福祉地域支援会議・地域精神保健福祉ネット・障がい者地域生活支援協議会等（計5回出席）
春日部保健所	<p>管内の保健・医療・福祉関係機関の職員を対象に、関係機関との連携強化、情報共有を連携を強化することを目的に事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町精神保健福祉連絡会への参加（6回） ・ 地域包括ケアシステム構築推進研修の開催（2月6日 参加 18人） ・ 保健所管内精神保健連絡会の開催（2月6日 参加 10人）
草加八潮医師会	草加市、八潮市が実施する「こころの健康相談」事業に精神科医（心療内科医）の派遣など、協力しながら事業を進めた。
三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる相談体制の強化。
春日部市薬剤師会	春日部市健康フェアにて薬の相談会の実施。
獨協医科大学埼玉医療センター	埼玉東部地域の保健所、医師会、薬剤師会、市町との連携の下に、診療と医療連携を通して、情報交換を行うとともに、セカンドオピニオン外来にて相談体制を充実させた。
草加市立病	近隣の精神科クリニック・病院の医療機関情報をまとめており情報提供をしている。
埼玉県看護協会	<p>4月27日 春日部市民会館において「医療現場における暴言暴力への対応」 講師：及川直美氏 参加者86名</p> <p>7月13日 春日部市民文化会館において「傾聴と対話から自己実現を目指して」 講師：法華津ともみ氏 参加者57名</p>
春日部市	<p>【健康課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精神保健福祉連絡会（研修）…対象：市職員（保健福祉部門）、実施日：9月10日、参加者：21人 ・ メンタルヘルス講演会…対象：市民 実施日：12月7日、参加者：66人 ・ ゲートキーパー養成講習会…対象：母子保健推進委員、実施日：1月15日、参加者：24人 ・ ゲートキーパー養成講習会…対象：市職員、実施日：2月6日、参加者：53人 ・ こころの健康相談……毎月3回実施、精神保健福祉士・臨床心理士・保健師による相談、年42件 ・ 新成人向けのリーフレット配布…成人式にてリーフレット配布、1,650部 ・ こころの体温計…メンタルヘルスチェックシステム 通年 アクセス数：30,386件
草加市	・ 援護の案内を改定した。また、統合失調症の家族を対象に地域活動支援センターと共催で「家族教室」を実施した。

②
精神

保健に係る情報提供や相談体制の充実	越谷市	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健相談窓口案内用リーフレットを作成し、来訪者や庁内外関係機関へ配布した。 ・精神保健困難事例について専門家によるスーパーバイズを受け、支援者のスキルアップを図り相談体制の充実を図った。 (精神科医師による専門相談：6回、内訳：訪問相談5件、ケースレビュー4件) (臨床心理士による専門相談：6回、内訳：検討事例8件) ・自殺未遂者相談支援事業を実施し、三次救急医療機関及び消防本部との連絡報告会を計3回実施することで、自殺対策に関わる相談支援体制の充実を図った。 ・ひきこもり家族教室、うつ病家族教室、アルコール依存専門相談、アルコール関連問題市民公開セミナーを実施し、ひきこもりやアルコール関連問題、精神疾患等に関する正しい知識の普及啓発を行った。 (ひきこもり家族教室：1回、10人 うつ病家族教室：3回、計48人) (アルコール依存専門相談：1回、3組 アルコール関連問題市民公開セミナー：1回、24人) ・一般市民から市職員まで幅広くゲートキーパー研修を実施し、自殺防止に関する意識の向上と正しい知識の普及を図った。 (ゲートキーパー研修：計18回、計561人)
	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ①広報・HPでの知識、情報提供 ②毎月1回、精神科医による相談の実施 ③市内相談先一覧を作成し、窓口にて配布を行った。 ④随時、保健師、精神保健福祉士による相談の実施。
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健に係る相談体制の充実を図るため、各種相談機関を掲載したパンフレットを差し込んだポケットティッシュやクリアファイル作成し、市民に配布している。 ・市民への出前講座に「こころの健康づくり～ゲートキーパー養成講座～」を含む4講座を市民団体やグループを対象に健康講座を実施している。 ・ガイドブックを作成し、地域に向けた精神障害の理解促進。
	吉川市	相談事業について広報掲載。引きこもりについての庁内勉強会実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・随時保健師による電話相談や窓口対応、月1回、精神保健福祉士による「こころの相談」を実施し、相談者へ必要な情報について提供した。 ・「ストレスと上手に向き合うために」と題し講演会を実施した。 ・健康展では、こころの健康についてのチラシを配布し、啓発に努めた。
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康相談（精神科医による相談）（相談者実数：14人） ・ひきこもり対策事業：ひきこもり専門相談（臨床心理士による相談）（相談延数29人） ひきこもり家族教室（年1回実施：35人参加） ・保健所職員による相談：訪問530件・面接452件・電話等2534件、合計3516件 ・地域精神保健福祉セミナー（年1回実施、合計30人参加）
	春日部保健所	<p>精神保健に係る相談体制を充実させるため、保健・医療・福祉関係職員を対象に研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会・事例検討会の開催（9月17日 参加 5人）
	草加八潮医師会	相談者の状況に応じて、要医療、生活指導、状況観察など保健や福祉部門の行政職員とも連携を図りながら必要な助言等を行った。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる退院後の往診等のサポート。
	春日部市薬剤師会	薬剤師会と病院薬剤師の合同研修会を実施（情報共有・連携強化）。
草加市立病院	退院患者に精神疾患がある場合、症状に合わせ医療機関と調整を行っている。	

③ 退院後の地域支援体制の充実強化	草加市	・退院前から医療機関を訪問し、本人を含め支援体制について関係機関と検討し、地域で安定した生活が送れるよう、サービス調整を行った。
	越谷市	・措置入院解除時は県保健所開催の調整会議に出席し、措置入院解除後は退院前ケースカンファレンスを実施し、退院後の地域生活支援体制を整えた。また、退院後も面接や訪問等で定期的に状況を確認し、必要な支援を再調整した。
	八潮市	・基幹相談支援センターを中心に、相談支援事業所や医療機関等と連携を図り、退院後の支援体制について調整を行った。
	三郷市	・相談支援事業所と連携し、入院中より障害福祉サービス等の制度利用について説明を行い、再入院防止に向けた支援体制を整えた ・退院促進や地域生活の定着を目的とする「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けて、検討を進めてきた。
	吉川市	必要に応じて病院や地域移行支援事業者などと個別会議を実施。
	松伏町	・必要時、退院時カンファレンスに保健師が参加し、退院後の訪問や面接で継続受診等を支援した。
	草加保健所	・精神障害者地域支援体制構築会議（年1回実施） ・精神障害者に対応した地域包括ケアシステム構築推進研修（年1回実施：53人参加）
	春日部保健所	退院後に必要な医療等の支援を継続的に受けられるようにすることで、社会復帰の促進等を図ることを目的として事業を実施。 ・精神障害者支援地域協議会（代表者会議）の開催（12月10日 参加 15人） ・精神障害者支援地域協議会（調整会議）の開催（48回）

【4 健康危機管理体制の整備充実】

【主な取組】＜実施主体：医師会、薬剤師会、病院、市、保健所＞

① 地域における健康危機	草加八潮医師会	草加市、八潮市それぞれ地域防災計画を策定中であり、策定委員、防災会議委員に当会より出向・派遣している。大規模災害（地震、風水害）への対応を想定した意見交換、訓練等にも積極的に参加した。
	春日部市	【健康課】 ・災害時医療について春日部市医師会他関係機関との打合せ・・・4回 ・災害時用医薬品等備蓄業務委託・・・備蓄箇所数市内15か所
	草加市	・草加市と八潮市の医師会、歯科医師会、薬剤師会を中心とした災害医療チーム（SYMAT）が救護所開設運営訓練を実施した。 （実施日：11/17、参加者47名）
	越谷市	・保健所における健康危機管理体制の充実に向けて、保健所健康危機管理マニュアルを整備した。
	八潮市	・草加八潮災害時医療チーム発足に係る調整会議に出席し、情報共有を図った。

機 管 理 体 制 の 充 実 強 化	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・防災医療対策協議会を開催し、防災医療体制について協議を行った。 参加団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、三郷市危機管理防災課、三郷市健康推進課、三郷市消防本部、三郷市消防署 開催日：令和元年5月28日、7月30日、9月24日、11月26日、令和2年3月24日
	草加保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・草加保健所健康危機管理マニュアルを作成し所内に配布した。(作成日：平成31年4月1日) ・草加保健所地域災害保健医療調整会議を設置して会議を開催した。(開催日：令和2年2月18日、13名出席)
	春日部保健所	<ul style="list-style-type: none"> ・健康危害発生時における緊急対応マニュアルを作成し所内に配布した。(作成日：平成31年4月1日) ・埼玉県東部(北)保健医療圏地域災害保健医療調整会議を開催した。(開催日：令和2年3月12日、17名出席)
② 大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組	春日部市医師会	行政、警察、消防、歯科、薬剤師、接骨、鍼灸マッサージ等の関係機関と会合を重ね、大規模災害発生時の初動48時間、72時間の対応についてマニュアルの作成、救護所5カ所の設置等を決定した。さらに、春日部市防災訓練において、3回目のトリアージ訓練を実施した。
	越谷市医師会	越谷市災害対策マニュアルに基づいた有事の際の医療提供のあり方について継続的に検討している。市設置の医療救護所への医療班派遣準備の体制構築を図っている。また、医療救護活動に必要なトリアージに関するスキルアップ研修を会員医師のみならず、市保健師や医療機関勤務看護師、薬剤師会にも受講対象を拡げ災害医療への理解と医療班への参加協力に対する意識啓発に取り組んでいる。他地域への応援要請に応えるべく、Jmat活動にも取り組みを強化した。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療委員会を開催し、災害時の医療救護体制の現状(平日・夜間・休日等)、災害時の医療救護体制の構築、医薬品等の物資の確保策、災害時連絡システム、今後の医療救護体制に向けて(行政合同会議の開催など)検討した。 ・行政主催の防災訓練に合わせ、トリアージ訓練を実施した。
	草加八潮医師会	本会の独自に草加八潮災害医療チーム(SYMAT)を組織・編成し、草加市、八潮市が実施する訓練に参加し、避難所における救護所訓練を実施した。
	三郷市医師会	防災医療対策協議会の一員として大規模災害時に備えた防災医療体制の充実化を図り、トリアージ訓練や化学災害対策訓練を実施
	春日部市薬剤師会	災害時医療訓練の実施。 薬局における災害時医療救護所用医薬品の備蓄。
	草加市立病院	令和元年9月、内閣府主催大規模地震時医療活動訓練に併せ、大規模災害被災者患者の受け入れ及び対応訓練を実施。 BCPを策定し、継続的に見直しを行うため委員会を立ち上げた。
	春日部市	【健康課】 5師会等との連携により、大規模災害発生を想定した医療救護訓練の実施・・・令和元年11月17日(日)春日部市立桜川小学校、310人参加。

② 大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組	草加市	・大規模地震時医療活動訓練（保健医療調整訓練・避難所診療、運営訓練）を草加市立病院にて実施した。 （実施日：9/7、参加者118人）
	越谷市	・越谷市医師会との災害時における医療救護活動に関する協定に基づき、医療救護活動に対する協力を確認した。 ・越谷市薬剤師会と医薬品等の供給に関する協定を締結していたが、より実効性のある協定とするため、医薬品等卸売会社を加えた3者協定を新たに締結し直した。
	八潮市	・令和元年度八潮市総合防災訓練でのSYMAT実施に向け、市内救護所の設置について協議を行い、草加八潮医師会・歯科医師会・薬剤師会へのSYMATの説明・協力依頼等を行った。 ・発災直後から時間の経過に応じた体制構築や救護所レイアウト、備品（確保・保管）、その他必要物品等の準備・総合防災訓練の内容等会議を行い、SYMAT訓練を実施した。
	三郷市	・医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会へ三郷市総合防災訓練への参加を依頼し、訓練内容について協議を行った。 ※三郷市総合防災訓練は台風接近により中止
	吉川市	吉川松伏医師会が主体となり市と連携して災害時におけるトリアージ訓練を実施。
	草加保健所	・草加保健所地域災害保健医療調整会議を設置して会議を開催した。 （開催日：令和2年2月18日、13名出席）
	春日部保健所	・埼玉県東部（北）保健医療圏地域災害保健医療調整会議を開催した。 （開催日：令和2年3月12日、17名出席）
③ 感染症対策の	春日部市医師会	麻しんについて、保健所の指導に基づく、会員医療機関への注意喚起、対応方法の伝達。風しんについて、追加的対策も含めた抗体検査の実施など会員医療機関の積極的な参加を奨励した。
	越谷市医師会	令和元年始めころ、にわかにならぬ新型肺炎のニュースが駆け巡るようになった。年度末の3月にPCR検査センター設立準備につなげられるよう、会員医師を対象とした防護服の着脱訓練を緊急開催したり、パンデミック対策委員の選定と招集を行うなどの準備が始まった。
	吉川松伏医師会	・医療機関へ新型コロナウイルスの感染拡大による感染防止対策などの周知へ周知した。
	草加八潮医師会	国、県から情報提供を受け、会員への周知・啓発を積極的に行った。
	三郷市医師会	学術講演会を開催し、インフルエンザ等感染症に対する知識の充実化を図る。
	春日部市薬剤師会	薬局にて、はしか感染予防の啓発。
	獨協医科大学埼玉医療センター	感染防止対策地域連携加算カンファレンス実施 第1回 令和元年5月14日（火） 出席者 23名 第2回 令和元年7月9日（火） 出席者 21名 第3回 令和元年9月10日（火） 出席者 21名 第4回 令和元年11月12日（火） 出席者 22名
草加市立病院	出入口や各窓口・部署に消毒用のアルコールを設置。	
埼玉県看護協会	11月30日 春日部文化会館において「ノロウイルス・インフルエンザを拡大させないために」講師：小林正弥氏 参加者71名	

強化	越谷市食生活改善推進員協議会	調理室の前室にて、手洗い（ひじまで）をし、エプロン、三角巾、マスク着用、検温、体調管理簿に記入。 換気確認。除菌シートやアルコール液で消毒。
	春日部市	【健康課】 ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき備蓄品を購入・・・消毒用エタノール320ℓ、使い捨て手袋500箱 ・新型インフルエンザ等感染症等の感染防止研修会への参加・・・5回
	草加市	・草加保健所・市感染症対策担当者連絡会議に参加し、感染症対策に関する最近のトピックスや課題と対応について情報交換を行った。（実施日：7/1） ・埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練に参加し、庁内関係部署及び草加八潮医師会と連絡訓練を実施した。（実施日：11/8） ・新型インフルエンザ等草加保健所管内地域別対策会議に係る実務者連絡会に参加し、新型インフルエンザ等発生時の行動計画や各機関の役割と課題についての情報交換、防護服着脱訓練を行った。（実施日：12/16） ・新型インフルエンザ等草加保健所管内地域別対策会議及び研修会に参加し、住民接種について県保健医療政策課からの情報提供とグループワークを行った。（実施日：2/6）
③ 感染症対策の強化	越谷市	・新型インフルエンザ等の発生に備え、訓練を実施した。 対策本部設置訓練、感染症対策防護具着脱訓練等を実施。 ・市職員を対象とし、感染症患者対応訓練を実施した。 「国際大会と輸入感染症」の講義、及び「エボラ出血熱疑似患者発生時の対応」について机上訓練を実施。（参加者25人）
	八潮市	・国・県連携による新型インフルエンザ等対策訓練（連絡訓練）を実施した。 ・職員による感染症防護服の着脱訓練を実施した。
	三郷市	・三郷市新型インフルエンザ等対応マニュアルの見直しを実施した。
	吉川市	緊急風しん対策のため、年度内に対象者にクーポンを発送。
	松伏町	新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、マスクやアルコール等の備蓄を補填した。緊急事態宣言に備え、新型コロナウイルス感染症対策推進会議・対策本部の準備を進めた。
	草加保健所	・令和元年度感染症発生状況 3類：7件、4類：7件、5類：74件（2類：結核を除く） ・令和元年結核新登録患者数：60人 ・「新型インフルエンザ等草加保健所管内地域別対策会議」に係る実務担当者連絡会にて情報交換、防護服着脱訓練を実施した。（開催日：令和元年12月16日 22名出席） ・「新型インフルエンザ等草加保健所管内地域別対策会議」にて「新型インフルエンザ等対策に係る住民接種について」の研修会及び実務担当者連絡会の報告を行った。（開催日：令和2年2月6日 34名出席） ・埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練として、管内での新型インフルエンザ感染拡大を想定し、常時整備している連絡網を活用し、専門外来及び新型インフルエンザ等入院先医療機関への伝達訓練を政府訓練、県訓練と同時に実施した。（開催日：令和元年11月8日） ・新型インフルエンザ等対応訓練として、保健所職員による防護服着脱訓練、入院先医療機関までの患者搬送についての頭上訓練を実施した。（開催日：令和2年1月27日）

	春日部保健所	新興・再興感染症の発生対応訓練等（感染症防止対策講演会、市町新型インフルエンザ対策取組報告会、患者搬送訓練、防護服着脱訓練、政府の訓練に合わせた新型インフルエンザ情報伝達訓練）を実施
④ 食の安全・安心確保	草加八潮医師会	国、県、草加市、八潮市等から積極的に情報提供を受け、会員への周知・啓発を積極的に行った。
	埼玉県看護協会	5月13日 ララガーデン春日部において、健康相談・栄養相談等を実施 来場者216名 5月10日 新越谷駅において健康相談、血管年齢測定、骨密度測定等を実施 来場者348名
	越谷市食生活改善推進員協議会	食材は、調理実習の前日午後又は当日買い出し。 在庫の調味料の鮮度確認 まな板は野菜用1枚と魚肉用1枚を使いわけ、まな板とほうちょうは熱湯消毒、布巾・台ふきは漂白洗濯、料理は会食時間内でとる。持ち帰り禁止。
	越谷市	・食品営業施設等の立入検査及び食品の製造・販売施設の監視を実施した。 （1,601施設） ・市内で製造・販売される食品等について法等に基づき食品収去等検査を実施した。 （188検体、4,485項目数） ・食品関係営業者等への衛生教育を実施した。 食品営業者や市民等に対して、食中毒予防のための講習会や、キャンペーンを通じて、正しい食品衛生知識の普及啓発を実施。 （衛生講習会実施数14回、参加者数809名、こしがや産業フェスタにおける手洗い体験会）
	吉川市	コバトン食の安心情報（埼玉県発行）を保健センターに掲示。
	草加保健所	HACCP導入の普及・啓発：①営業許可更新時の周知施設708施設 ②食品衛生責任者に対する実務講習会2回（374人参加） ③HACCP導入相談会への職員の派遣6回 施設に対する重点的・専門的な監視指導：①生の野菜等を加工提供する施設の監視：108施設 ②生食用食肉提供施設の監視：44施設 食の安心・安全についての情報提供：衛生教育の実施16回
	春日部保健所	食品等事業者に向けてHACCP（ハサップ）導入支援講習会を33回実施し、755名が参加した。 食品営業施設2,988施設の監視指導を行い違反等処理数は51件であった。管内で製造、販売等されている食品について316検体の収去検査を行い、不適合等は2検体であった。食品等事業者に向けてHACCP（ハサップ）導入支援講習会を22回実施し、1,328名が参加した。

【5 在宅医療の推進】

【主な取組】 <実施主体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、看護協会、市町、保健所>

① 在宅医療・介護の連携の推進	春日部市医師会	医師会長が会長として春日部市在宅サービス多職種連絡協議会を定期的に開催することで、医師会、行政、歯科、薬剤師、接骨、看護師、ケアマネージャー等、文字通り多職種のメンバーが集まり、意見交換、情報交換を行っている。
	越谷市医師会	「地域包括ケア推進のための在宅医療提供体制充実支援事業」8つのうち、「関係市区町村の連携」以外の7つの項目を実施している。また、越谷市ケース検討会議参加医師のコーディネートを行うなど、多職種連携推進のハブの役割を担う組織として連携推進の構築に腐心する毎日である。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 往診医の紹介など在宅医療に関わる相談業務を行った。 ・ 在宅療養支援支援ベッドの確保、調整を行った。 ・ 市町が開催する多職種連携の会に定期的に参加した。 ・ 「医療機関連絡窓口の情報一覧」を作成・更新した。 ・ ホスピタリティマナー講座、在宅療養に関する研修を開催した。 ・ 市町が実施する介護施設等の医療対応についての情報公開を行った。 ・ 吉川松伏在宅緩和ケア地域推進委員会を設置。
	草加八潮医師会	本会に『在宅医療委員会』を組織し、会員間の意思疎通、情報共有など連携を図るとともに、草加市、八潮市が実施する各種事業への協力を行った。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる医療・介護連携の推進。
	越谷市歯科医師会	「越谷市地区在宅歯科医療推進窓口」「越谷市の地域包括支援センター」「越谷市医療と介護の連携の会」と連携し、情報を共有し顔の見える関係を築くことを歯科医療従事者に周知しました。
	春日部市薬剤師会	春日部市在宅サービス多職種連絡協議会へ参加。
	獨協医科大学埼玉医療センター	入院患者が医療・生活介護上の課題を抱えて退院になる場合は、患者や家族、訪問看護ステーションや訪問診療・地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の職員を含め退院前カンファレンスを実施している。
	埼玉回生病院	・ 地域包括ケアシステムを推進するために、高齢者が住み慣れた地域や自宅で日常生活を送ることができるよう、地域内の医療機関と介護事業所が連携し、効率よくサポートできる体制を段階的に進めている。
	草加市立病院	草加市立病院は各病棟に退院支援看護師を配置し、地域や医療・介護のおける関係機関へ適時適切に連絡を行っている。そして退院時には関係機関へ看護サマリーを送付している。
	春日部市	<p>【介護保険課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・介護関係者を対象に「春日部市医療介護連携研修・交流会」を開催した。 実施日（参加者数）：5月14日（273人）、11月12日（223人） ・ 医療・介護関係者を対象にアドバンスケアプランニングについての研修会を開催した。実施日（参加者）：6月5日（83人）
	草加市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療・介護多職種協働研修会（医療・介護事業者向け）を5回実施した。 （6/13：136人、7/18：77人、7/25：59人、10/18：77人、11/19：86人） ・ 在宅療養虎の巻講座（住民向け）を3回実施した。 （10/11：56人、11/24：391人、2/9：32人）

越谷市	<p>・平成27年度の介護保険法改正により、在宅医療・介護連携推進事業は市町村が主体的に取り組む事業として位置付けられ、本市では平成30年度から国が定める8つの事業（下記ア～ク）全てを所管し実施している。</p> <p>(ア) 地域の医療・介護の資源の把握 (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援 (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援 (カ) 医療・介護関係者の研修 (キ) 地域住民への普及啓発</p>
八潮市	<p>・在宅医療・介護連携に関する現状把握や課題抽出のため、医療・介護等の関係機関を構成員とする在宅医療・介護連携推進会議を開催した。</p> <p>(第1回 実施日：6月21日、参加者12名) (第2回 実施日：9月27日、参加者14名) (第3回 実施日：3月27日、コロナ対策により中止・資料提供のみ)</p>
三郷市	<p>・退院調整ルールを作成、配布。</p> <p>・ACP、ターミナルケアに関する講演会を年2回開催。（主体：医師会）</p>
吉川市	吉川松伏多職種連携の会を6回開催し、医療従事者や介護従事者向けの研修会等を実施。
松伏町	<p>・平成30年度に医療介護資源情報提供システムを開発し、運用を実施している。</p> <p>・在宅医療連携拠点において、療養支援ベッドの確保・往診医及び患者登録を継続的に実施した。</p>
草加保健所	<p>・埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を開催した。（開催日：令和元年7月17日、17名出席）</p>
春日部市医師会	行政の理解のもと、春日部市地域包括ケアシステム推進センターを立上げ、選任スタッフがコンピュータシステムによる医師、患者の登録、紹介等に医師会として積極的に寄与している。
越谷市医師会	<p>「医療・介護の連携拠点運営委員会」を開催中。拠点運営に係る協議を行っている。出席者は、越谷市役所、越谷市医師会在宅医療担当役員および医師、拠点職員。また、越谷市地域包括ケア推進課との毎月の会合実施。</p> <p>コーディネータースタッフも増やした。</p>
吉川松伏医師会	<p>・平成30年度より市町の受託事業により、平日9時～17時、コーディネーター（看護師、介護支援専門員）、2名体制で運営している。</p> <p>・在宅医療、介護連携に関わる相談業務・往診、訪問診療医、患者登録支援業務・在宅療養支援ベッド確保業務・在宅療養に関わる普及啓発業務・多職種間や在宅医療への理解を促進するため、各専門職の技術向上や多職種の連携につながる研修の開催などを行った。</p>
草加八潮医師会	草加市、八潮市からの委託事業である『在宅医療サポートセンター』事業を設置・運営し、市民あるいは事業所からの医療に関する各種相談や、各所に点在する地域包括支援センターをはじめとする介護関連事業所との連携・調整等を行った。
三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる後方支援ベッド体制等の充実化。

②
在

宅医療連携拠点の充実	越谷市 歯科医師会	越谷市地区在宅歯科医療推進窓口を軸に、他職種団体と密に連携を図り情報を共有しています。
	埼玉 回生病院	・八潮市地域包括支援センター運営協議会（年2回）に職員を派遣し、医療、保健、福祉、介護の各関係機関の連携がスムーズに運用できるように関係調整を行っている。
	草加市立病 院	草加市在宅医療・介護連携推進協議会の委員として、会議に参加している。議題内容としては、在宅医療・介護連携推進事業における課題と対策、在宅療養リーフレット作成について等である。
	春日部市	【介護保険課】 春日部市地域包括ケアシステム推進センターにて、医療・介護関係者、地域包括支援センター等への相談支援及び情報提供を実施した。（相談件数：45件）
	草加市	・草加八潮医師会に委託し、「在宅医療サポートセンター」を在宅医療連携拠点として設置している。
	越谷市	・上記（ア）～（キ）の事業を越谷市医師会に委託しており、医師会内に設置された「越谷市医療と介護の連携窓口」が在宅医療連携拠点として事業を実施した。
	八潮市	・在宅医療サポートセンターを相談窓口として、市民および地域の医療・介護関係者（地域包括支援センター・ケアマネジャー等）からの医療相談に対応。 ・退院時等の医療と介護の連携調整や在宅医療を希望する患者を往診医につなぐなどの対応。
	三郷市	・三郷市在宅医療介護連携サポートセンターを三郷市医師会に委託。
	吉川市	平成30年4月から吉川松伏在宅医療サポートセンターを吉川松伏医師会への委託により設置。
	松伏町	・在宅医療連携拠点「吉川松伏在宅医療サポートセンター」の運営を地域支援事業として平成30年度から医師会に業務委託を実施している。
	草加 保健所	・埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を開催した。（開催日：令和元年7月17日、17名出席）
	春日部市 医師会	春日部市在宅サービス多職種連絡協議会による、毎回300～400名が参加する次回で10回目の春日部市医療介護職連携研修・交流会における、講師の決定、派遣、講演終了後のグループディスカッションに会員医師の積極的な参加を促している。
	越谷市 医師会	医療連携に係る窓口相談受付業務。多職種からの相談内容をまとめた「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行し関係機関・団体へ配布。地域が抱える課題解決のため情報を共有している。ホームページは行政、事業所にもリンクできるようにした。窓口図書室を始めて希望者に貸し出しをしている。MCS積極活用の推進活動も行っている。
吉川松伏 医師会	・医療、介護従事者より電話、FAX等にて相談を受けている。令和元年度の相談件数は、102件であった。 ・医療、介護などに関わる情報提供は、ケアマネ会などにて配布、郵送、FAX、市町で管理している情報公開システムに掲載した。 ・サポートセンターの拠点通信、MCSで情報提供・情報の共有をしている。 ・市町が開催する多職種連携の会に定期的に参加した。	
草加八潮 医師会	埼玉県、草加市、八潮市及び各団体等が実施する講演会や研修会、会議等にも積極的に参加・出席することで、情報共有、相談体制の充実に努めた。 ※範囲を拡大すれば拡大するほど業務多忙となるという皮肉な結果が生じている。	

③ 在宅医療・介護関係者の情報共有、相談体制の支援

三郷市 医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる多職種連携に主眼を置いた研修会等の定期的な開催による支援体制の強化。
越谷市 歯科医師会	越谷市地区在宅歯科医療推進窓口を軸に、困難事例等情報共有し課題解決にとり組んでいます。在宅歯科健診・在宅歯科訪問診療の申し込み書を作成し、関係団体へお配りし情報を共有しています。
獨協医科大学 埼玉医療 センター	入院患者に対しては、病棟担当の入退院支援職員が配置されているため、入退院支援職員が中心になり、在宅医療・介護関係者と情報共有や相談ができる体制にしている。
埼玉 回生病院	・当院では、居宅介護支援事業所や通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、訪問診療等の訪問系事業所併設という特徴を活かし、円滑な医療から介護支援への移行が可能となっており、居宅介護支援事業所は、24時間の支援相談体制を整えている。
草加市立病 院	在宅医療、在宅看護、介護関係者と連携を行った。 退院カンファレンス 125件 新規訪問看護導入 72件 新規訪問診療導入 41件
春日部市	【介護保険課】 地域の医療・介護関係者が参画する「春日部市在宅サービス多職種連絡協議会」を開催した。 実施日（出席者数）：4月22日（21人）、5月29日（21人）、6月18日（23人）、7月24日（25人）、9月24日（30人）、10月28日（22人）、11月20日（22人）、1月20日（22人）、2月21日（21人）、3月16日（26人）計10回 233人
草加市	・医療機関・介護事業所の情報を記載した「草加市在宅医療・介護連携ガイド」を作成し、医療・介護従事者に向け配布した。 ・「在宅医療サポートセンター」において、在宅医療・介護に関する相談支援を行った。 （相談件数：314件）
越谷市	・関係者が情報共有するための広報誌「医療と介護の連携窓口便り」を毎月発行した。 ・ICTによる情報共有ツールであるMCS（メディカル・ケア・ステーション）に越谷市地域包括ケア推進課のアカウントを開設した。 ・越谷市医療と介護の連携窓口が医療・介護関係者からの相談窓口となり、電話・メール等の相談を295件受け付けた。
八潮市	・医療・介護関係者の情報共有を図るため、在宅医療サポートセンターを「医療・介護の連携ツール相談窓口」として、MCSの登録作業やホームページ等による啓発活動の実施。 ・「医療と介護連携連絡表」の見直し、活用の促進PRの実施。
三郷市	・介護保険の認定申請窓口にて、三郷市在宅医療介護連携サポートセンターの案内チラシを配布。 ・市民対象に在宅医療介護に関する相談窓口に関するミニ講座を年2回開催。 ・MCSの積極的な活用を促進するために、連携拠点による事業所へ活用状況のアンケート調査を実施。個別に活用方法等を説明。

	吉川市	平成30年9月から「医療・介護情報提供システム」を公開し、情報共有体制を整備。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に医療介護関係者と行政が情報共有するためのシステムを開発し、運用を実施している。 ・埼玉県医師会が開発した医療介護専門SNSの普及啓発に努めた。 ・平成30年度から医療介護資源情報提供システムの開発・運用を実施した。(再掲)
	草加保健所	・埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を開催した。(開催日：令和元年7月17日、17名出席)
④ 関係 機 関 の 連 携 の	春日部市医師会	医師会として、春日部市在宅サービス多職種連絡協議会に8～9名の会員が出席し、様々な検討事項をそれぞれの代表者と討議することで関係機関との連携を図っている。
	越谷市医師会	越谷市内医療機関へ向け、各関係機関との情報共有について状況調査を行った。越谷市内訪問看護ステーション、ケアマネージャーへ向けアンケートも実施。集計結果を分析し、委員会等協議内容への参考としたり、市内病院への出張講座実施時の発表資料にも活用している。また、「医療と介護連携の会・世話人会」を2か月に1回開催。越谷市における多職種各団体代表者が一堂に会し、地域包括ケア推進のための意見交換や体制の構築に深く関与した協議会となっている。県内の横断的な繋がりを目的にMCSで県内拠点グループを作った。「越谷市地域緩和ケア連携委員会」は緩和ケアの連携に向けて立ち上げた。介護職にも医療の視点を、医療職にも新しい学びができるよう「医療的視点を補うための疾患の理解とチェックポイント」をシリーズで開催。ACP普及のために意思決定を考えられるようカードゲームで「もしばなゲーム」を行ったり、市役所と一緒に市民向け講座も行った。
	吉川松伏医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・市町が開催する多職種連携の会に定期的に参加した。 ・多職種連携の会の主催「人生会議、市民講座」へ参加した。 ・松伏町地域ケア会議への参加した。 ・地域包括ケアシステム推進会議へ参加した。
	草加八潮医師会	埼玉県、草加市、八潮市及び各団体との横断的な関わりをもつことは重要なことである。いろいろな場面でいわれているが、『顔の見える関係の構築』でつながっていくことは必須と考える。
	三郷市医師会	在宅医療・介護連携サポートセンターによる関係機関との調整。
	越谷市歯科医師会	平成23年度から地域包括支援センターとの交流会を継続して実施し、下記取り組みを行っています。 -認知症、独居、引きこもり、貧困等を対象に、見守りチェックシートの活用 -連携シート(歯科医師会～地域包括支援センター間)の活用による見守り体制の構築
	春日部市薬剤師会	春日部市在宅サービス多職種連絡協議会による研修会・交流会の実施。
	獨協医科大学埼玉医療センター	年2回の地域医療機関を対象にした連携懇談会を開催し、埼玉県東部圏域をはじめ、千葉県北西部、東京都足立区近隣の医療機関に参加をいただいた。越谷市内地域包括支援センター・居宅介護支援事業所との連携ミーティングを開催し、30機関45名の方々に参加いただいた。
	埼玉回生病院	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア推進会議－地域包括支援センター職員及び市職員等が集まり、各会議で上げられた議題について検討すると共に、情報の共有化を行う会議に参加した(12回) ・専門職種別会議－保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士の3職種が専門性を生かした活動を実施するための専門職会議に参加した(36回) ・自立支援型地域ケア会議－自立支援型地域ケア会議に参加した。PT、OT、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士(12回)

推進	草加市立病院	<p>医師会との共催で臨床研修会を2回行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月1日 第72回臨床研修会 参加者61名 ・ 10月5日 第73回臨床研修会 参加者61名 <p>草加市在宅医療・介護多機関共同研修会に参加した。</p> <p>基礎編第1回目 7月18日「草加市の現状と課題について」 「1%の科学と99%の思いやり～在宅医療の現場から～」</p> <p>第2回目 7月25日「草加市における多機関の実際」</p> <p>各論編第2回目 10月18日「草加市立病院がすすめる退院支援について」 在宅看取りで退院となった事例を通して学ぶ多機関連携の実際」</p> <p>12月14日 ほぼスカイツリーライン地域ケアコンソーシアム大会 「暮らしから医療・福祉を共に考えてみよう」</p> <p>1月23日 埼玉県在宅医療介護連携推進事業研修会 「ACPの本質とは何か」</p> <p>2月6日 埼玉県医師会脳卒中地域連携研修会</p> <p>2月6日 東京医科歯科大学医療連携の会</p> <p>2月13日 ケアラーシンポジウム2020</p> <p>2月13日 大内病院主催地域連携の会</p> <p>2月18日 地域連携推進懇話会（川口医療センター主催）</p>
	春日部市	<p>【介護保険課】</p> <p>介護関係者を対象に「春日部市介護事業部門連携研修・交流会」（全体・部門別）を開催した。</p> <p>実施日（参加者数）：【全体】8月20日（80人）、【通所・訪問部門】1月22日（20人）、【居宅部門】1月24日（63人）、【施設部門】1月31日（24人）</p>
	草加市	<p>・草加市在宅医療・介護連携推進協議会を設置し、2回会議を開催した。（7/4、11/22）</p>
④ 関係機関の	越谷市	<p>・医療関係者、介護関係者、学識経験者等16名で構成された「越谷市地域包括ケア推進協議会」を1回開催し、在宅医療・介護連携推進や、自立支援型ケース検討会議について審議した。（実施日：8月9日）</p> <p>・多職種が参加する研修会を10回開催し、延べ669人が参加した。</p> <p>4月25日 80人 越谷市医療と介護の連携窓口3年間の歩み</p> <p>7月5日 60人 W R A P 研修会 第1回</p> <p>8月2日 40人 W R A P 研修会 第2回</p> <p>9月6日 40人 W R A P 研修会 第3回</p> <p>9月12日 60人 第4回医療的視点を補うための疾患の理解とチェックポイント～がん患者の予後予測と寄り添い方～</p> <p>9月19日 171人 第27回医療と介護連携の会～大交流会～</p> <p>10月10日 41人 防災対策ゲーム クロスロードから学ぶ</p> <p>10月25日 38人 第28回医療と介護連携の会「医療者へ送る明日からの医療」～患者とともに考える「患者協働の医療」とは～</p> <p>11月21日 79人 第5回医療的視点を補うための疾患の理解とチェックポイント～訪問看護・介護に必要な呼吸不全、誤嚥性肺炎の知識</p> <p>12月12日 60人 多職種研修会「自信をもってコミュニケーション」</p>

連携の推進	八潮市	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者向けの医療・介護資源リストを更新し、市内の医療機関・薬局・介護サービス事業所等に配布。 ・関係機関の連携および情報共有を図るため、多職種研修会の実施。 (実施日：12月26日、参加者44名)
	三郷市	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷市在宅医療介護連携推進協議会を年3回開催。(主体：市) ・多職種研修会を年3回開催。(主体：市)
	吉川市	吉川松伏多職種連携の会を6回開催し、医療従事者や介護従事者向けの研修会等を実施。
	松伏町	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会と行政が中心となって組織する「多職種連携の会」を隔月の4/11、6/6、8/1、10/3、12/5、2/6に開催した。 ・吉川松伏在宅医療サポートセンター主催の専門職向け接遇研修会を10/25に実施した。 ・多職種連携の会主催の専門職向け研修会「人生会議について」を11/22に実施した。 ・多職種連携の会主催の市民向け講座「人生会議について」を2/11に実施した。
	草加保健所	・埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会 草加・八潮・三郷・吉川部会を開催した。(開催日：令和元年7月17日、17名出席)